

令和5年度 第2回 学校運営協議会（議事録）

I 日 時 令和5年10月28日（土） 10：00 ～ 12：00

※ 公開授業日

II 場 所 静岡県立浜松湖東高等学校 大会議室及び各教室

III 出席者（委員、敬称略）

山口権治（第一学院高等学校 顧問）、鬼石直也（本校後援会長）

神間智博（本校同窓生）、新村貴文（神久呂地区社会福祉協議会会長）

鈴木恵子（認定 NPO 法人理事長）、村松俊司（神久呂協働センター所長）

欠席者

新井立夫（文教大学教授）、

本校職員

渥美真人（副校長、校長職務代行者）、山崎修司（教頭）、諸井康恵（事務長）

V 内 容

1 授業参観等

2, 3 時限授業参観

2 副校長挨拶

御多忙の中、御参集賜り、ありがとうございます。

本日、授業公開日ですが、部活動の公式戦と重なり、10人の先生方が不在のため、自習となってしまった授業もありました。

本来、校長が挨拶するのですが、小林校長が8月30日にお亡くなりになり、私が職務代行者となりました。小林先生は6月下旬頃から辛そうでした。ところが、生徒と話をしたり、生徒の前に立ったりすると、元気な姿を見せていました。生徒が生きがいとなっていたようです。8月3日に入院し、21日に会いにいった時にはもう話が出ない状態でした。

職務代行は3月末まで続きます。年度末を無事に迎えらるよう、皆さんに助けていただきたいと思います。よろしくお願いします。

3 議事（進行：会長欠席のため、副会長）

(1) 授業参観の感想（委員から）

- ・落ち着いた授業態度であった。
- ・タブレットを用いた授業だったが、持っていない生徒がいた。どう対応しているのか。
（副校長）十分な数の貸出用の端末を学校で用意している。
- ・小林先生の通夜に行った。その場での生徒の行動から、慕っていた様子が伺えた。
- ・湖東高校で講話をしたことがある。他校でも行っている。積極的に外部人材の活用を推進してほしい。
- ・施設、設備が古くてみすばらしい。何とかならないか。私立高は設備がきれいで充実している。
（副校長）県への要望は出しているが、予算化されない。
- ・金融関係の仕事をしているので、講話等でお手伝いができる。

- ・自習のクラスもしっかり取り組んでいた。
- ・今の１年生は小学校ではまだ情報端末を使用していないと思うので、毎日持参することや使用することに慣れていない子もいるのではないかな。
- ・「コトバショ」のリーダーの子は、募集、運営、取りまとめと本当に熱心にやっている。後輩が同じように育ってほしい。

(2) 今年度の取組みについて

ア 働き方改革（副校長から説明）

- ・完全定時退勤日を月１回設定している。生徒も職員も勤務時間終了後は、直ちに敷地外に出るようにしている。
- ・週１回全体打ち合わせをなくした。
- ・欠席連絡をメールで受け付けるようにした。上記と併せて朝の業務にゆとりが得られている。
- ・テスト採点システム（百問繚乱）を導入した。採点時間の削減になっている。
- ・Google Classroomを生徒連絡に使用している。連絡漏れがなくなるとともに、生徒は情報収集の自己管理が求められる。生徒の自主性を育てていく。

イ 今年度の新たな取組み

- ・インスタグラムによる情報発信を始めた。タイムリーな話題を幅広く投稿している。
- ・情報ＤＸ課を立ち上げた。課長を中心に、公務のＤＸ化を進めている。
- ・年間行事予定の見直しをする。必要性等を全職員で再検討してもらう。

ウ 継続した取組み

- ・探究学習を継続していく。１年「ソーシャルチェンジ」、２年「コーポレートアクセス」、３年「課題研究」を行っている。
- ・「コトバショ」「フェアートレード」も継続して取り組んでいく。

(3) 意見交換（委員から）

- ・熊本県にマンガ学科を有する高校がある。留学に特化する学科、ＤＸに特化する学科等の設置はできないか。
(副校長) 普通科の特色を出すことは県の方針であるが、学科設置は県教委判断で、各校ではできない。
- ・ピアサポートを取り入れたら受験生が増えた学校がある。
- ・「浜名湖海洋少年団」の団長をしている。湖東高生に紹介してほしい。こうした活動に参加することで、地域との連携が図れる。

4 学校関係者評価

運営協議会の委員の皆さまは、学校関係者評価の評価委員を兼ねています。次回は、自己評価を参考に、関係者評価及び御意見等をいただきますので、よろしくお願いします。

5 今年度の日程

次回第３回を２月１４日（木）１３時３０分～１５時３０分を予定しています。内容は学校関係者評価です。第４回は３月、次年度基本方針の協議となります。